

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 アネックス・テクノ 2 屋上・外壁等改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 新産業・エネルギー振興課 成長産業係

電話番号：058-272-1111 (内 2935)

E-mail : c11353@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 82,167 千円 (前年度予算額：3,768 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 3,768 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,400 | 368 |
| 要求額 | 82,167 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 73,900 | 8,267 |
| 決定額 | 73,951 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 66,500 | 7,451 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

アネックス・テクノ 2 は建設から 20 年以上が経過し、経年劣化による雨漏りが生じており、建物の壁内部に雨水が浸透し、主要な構造部を腐らせ建物の劣化を進行させる恐れがある。

施設の快適性と耐久性を長く保たせ、運営に多大な支障をきたす恐れをなくするため、早急な更新が必要である。

(2) 事業内容

屋上・外壁等の改修工事にあたり、令和 3 年度に策定した実施設計に基づき、令和 4 年度に改修工事を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であるアネックス・テクノ 2 の屋上・外壁等改修であるため、県が負担する。

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額（千円） | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|------------------------------|
| 工事請負費 | 79,596 | |
| 委託料 | 2,239 | |
| 事務費 | 332 | 旅費 86 消耗品費 113 燃料費 39 役務費 94 |
| 合計 | 82,167 | |

決定額の考え方

過去の類似事例の落札率を勘案し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画（管財課）に位置づけ

R3年度：実施設計

R4年度：工事

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 アネックス・テクノ2の屋上・外壁等を改修し、常に快適なセンター利用の状態を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | % |
| ② | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

施設屋上・外壁等の改修工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p> | |
| (評価) 3 | <p>アネックス・テクノ2は開館から20年以上が経過し、経年劣化による施設の屋上・外壁等の改修が必要となっている。そのため県民に快適な施設利用を維持するためには必要となる。</p> |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>計画的に改修を実施することで、雨漏りの対応が容易にでき、研修室等が快適に利用できる。</p> |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p> | |
| (評価) 1 | <p>事務局からセンターの運営に支障がない日程を聞き取りながら、計画的に実施する。</p> |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 アネックス・テクノ2は、開館から20年以上が経過し、経年劣化による雨漏りが生じている。また、建物の壁内部に雨水が浸透し、主要な構造部を腐らせ建物の劣化を進行させる恐れがあるため、計画的な改修が必要である。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和3年度に策定した実施設計を基に、屋上・外壁等の改修工事を実施する。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | 【○○課】 |
| <p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p> | |